

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2005-56858(P2005-56858A)

【公開日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-009

【出願番号】特願2004-299480(P2004-299480)

【国際特許分類第7版】

F 2 1 S 2/00

G 0 2 F 1/1333

G 0 2 F 1/13357

// F 2 1 Y 103:00

【F I】

F 2 1 S 1/00 E

G 0 2 F 1/1333

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示部と、ランプと、開口部を有する光学部材と、係止部とを備える表示装置であって

前記表示部を鉛直方向と略並行としている状態において、

前記光学部材の重心を基準とする鉛直方向上側及び鉛直方向下側の両方において、前記光学部材の水平方向の中央を基準とした左右両側に少なくとも1組の前記開口部及び前記係止部を有し、

前記光学部材の鉛直方向上側において、少なくとも前記光学部材の水平方向の中央を基準とした左右両側の2組の前記開口部と前記係止部とが、開口部の上縁部と係止部の上側外周部のみが当接することにより、前記光学部材を前記表示部と略並行となるように釣支するとともに、

前記光学部材の重心を基準とする鉛直方向下側における前記係止部が、前記開口部に接触しない状態で貫通していることを特徴とする表示装置。

【請求項2】

前記表示装置を、前記表示部の面内方向に回転させることを可能とする回転機構を有することを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】表示装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、本発明は、表示部と、ランプと、開口部を有する光学部材と、係止部とを備える表示装置であって、前記表示部を鉛直方向と略並行としている状態において、前記光学部材の重心を基準とする鉛直方向上側及び鉛直方向下側の両方において、前記光学部材の水平方向の中央を基準とした左右両側に少なくとも1組の前記開口部及び前記係止部を有し、前記光学部材の鉛直方向上側において、少なくとも前記光学部材の水平方向の中央を基準とした左右両側の2組の前記開口部と前記係止部とが、開口部の上縁部と係止部の上側外周部のみが当接することにより、前記光学部材を前記表示部と略並行となるように釣支するとともに、前記光学部材の重心を基準とする鉛直方向下側における前記係止部が、前記開口部に接触しない状態で貫通している構成の表示装置を提供する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

なお、前記表示装置を、前記表示部の面内方向に回転させることを可能とする回転機構を有していてもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】